

4.廃棄物試験研究センター

平成 23 年度に行った非定期業務は、ごみ処理施設等からの依頼等による検査、行政からの依頼検査及びその他の調査である。検体数及び延べ項目数は表 1 のとおりである。

表 1 平成 23 年度 廃棄物関係試験検査数

区 分	検体数	延べ項目数
ごみ処理施設等からの依頼等検査		
清掃工場・資源化センター	549	2,531
埋立場	374	2,235
し尿中継所	39	165
行政からの依頼検査		
雑草堆肥物の分析に関する調査	4	72
びん PET 組成検査に関する調査	4	108
その他の調査		
洗煙廃水処理に関する調査	98	191
飛灰からの六価クロム溶出 に関する調査	4	16
合計	1,072	5,318

1) ごみ処理施設等からの依頼等検査

清掃工場、資源化センター、埋立場及びし尿中継所からの依頼等により、施設の運転管理等に関する試験検査を行った。

依頼等が多かった試験検査は、使用薬剤の適正注入量の検討や薬剤の選定に関する検査、大雨時の埋立場堤内貯留水の水質調査であった。

2) 行政からの依頼検査

農林水産局農林部農業施設課からの依頼により、雑草堆肥化物の分析に関する調査、環境局施設部管理課からの依頼により、びん PET 組成検査に関する調査を行った。

3) その他の調査

(1) 洗煙廃水処理に関する調査

本市清掃工場の処理過程にて発生する洗煙廃水について処理方法の検討を行った。

(2) 飛灰からの六価クロム溶出に関する調査

本市清掃工場から発生する飛灰からの六価クロムの溶出挙動について調査を行った。